

浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和2年7月25日
通算：第48号
発行：浦川原区地域協議会
編集：地域協議会だより編集委員会
地域協議会事務局
(総務・地域振興グループ内)

会長・副会長 就任ごあいさつ

“お任せでなく参画のお願い”

会長 藤田 宏^{こうし} 隆^{りゅう} (熊沢)



平成17年より4期、15年間にわたり地域協議会委員を拝命してまいりました。今回の5期(令和2年4月から令和6年4月)については、平成の大合併からの浦川原区の自主審議、意見書の内容について再度精査し、課題を把握し浦川原区に根差した地域協議会であり続けてゆくことを誓います。5期の委員さんは以前に増して浦川原区の自主・自立の課題解決に意欲をもって活動されることに期待しています。

全28区の地域協議会で「自主的に審議した事項の数」「意見書の数」は4期、15年間でいづれも最多であったことを申し添えます。また、全区の中で始めに開催した「出前地域協議会」も続けて開催します。巡回し地区の課題解決に向けて活動してまいります。参上した際には是非お来しいたさき、「考え・話し合い・住みよい地域づくり」を皆様と共に築いてまいります。更なる支援をお願い申し上げます。

副会長 村松 進 (菱田)

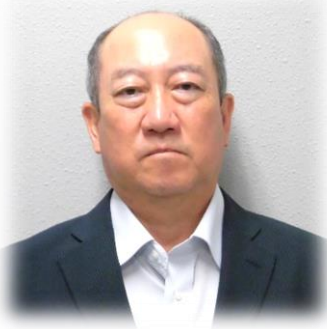


副会長の村松進です。

前期も副会長という重責を、委員始め浦川原区の皆様・行政の支援で務めることができました。ありがとうございました。今期も前期同様宜しくお願い致します。浦川原区の山積の課題に取り組んで行きたいと思っております。

人口減少問題、小学校統合による2校の廃校の再利活用問題、休止になっております温浴施設霧ヶ岳温泉「ゆあみ」の再利活・ほくほく線の電車内トイレ設置等多くの課題があります。中学生との交流学习についても、学校の協力をいただき継続してまいります。1つずつ解決の方向へ進んで行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

副会長 池田 幸博 (虫川)



今期で3期目となります。副会長という大役を仰せつかりました。地域協議会委員として早くも2期8年間が過ぎました。私が経験してきた中で大きな問題は、小学校の統廃合の問題と霧ヶ岳温泉「ゆあみ」の休業の問題でした。

今、目の前には大きな問題が無い様に見えますが、それは違うと考えています。先ず浦川原区地域協議会をより以上に地域の皆様から認識をたかめてもらうこと。また、市民の抱える小さな課題を把握すること。それが一番重要であると個人的に考えています。少なくなってしまった小学生、中学生の皆さんが、もっと地域と関われる様なステージ作りも必要です。新しい委員の皆様と意見を交えながら進めていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

新しい第5期浦川原区地域協議会委員の活動がスタートしました。

浦川原区地域協議会委員の皆さんの抱負などを伺いました。

(あいうえお順)

(新委員の任期：令和2年4月29日～
令和6年4月28日)

小野 正広 (山本)

今季、地域協議会委員として選任されました小野です。住んでいる場所は山本町内にあります。

今まで地域協議会とはあまりかかわりもなく、小学校の役員

等を務めさせて頂く中で、少し頭にあった程度でした。

この度、委員として選任を受け、実際に会議等始めとして、地域活動支援事業の審査など行う中で、責任の重さを感じます。4年間務まるのだろうか不安が先に立ちました。

しかし選任を受けた以上は、他の委員の皆さんと力を合わせ一致団結し行政の方々の力をお借りしながら、浦川原区の発展と地域の問題点に積極的に取り組みたいと思います。

4年間ですが、宜しくお願い致します。

春日 清美 (飯室)

この度、新メンバーの中の1人となった飯室在住の春日です。今まで子ども達と関わる事が多く、沢山元気を頂いてきました。今後はこのパワーを地域の中に取り入れ活動

していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

相澤 誠一 (顕聖寺)

地域協議会がどんな事をやるのか、あまり知らないまま第1回の会議に委員として参加しましたが、地域活動支援事業審議という一番大変な審

議からのスタートでした。与えられた予算をどう地域の為に生かすのか、重要な役割である事を感じました。私は農業関係の世界しか知りませんが、この地域の農業が多くの課題に直面している事を少しでも改善の方向に導くよう、精一杯努力いたします。4年間よろしく申し上げます。

赤川 義男 (岩室)

この度、新任で地域協議会委員となりました岩室の赤川です。60歳を過ぎてから、やっと地域の事を少しずつでも知らうと思ひ、委員を引き受けさせて頂きました。自分自身の勉強のために、任期期間中、頑張ろうと思っていますので、宜しく

お願い致します。

北澤 誠 (有島)

地域協議会委員復活の北澤です。合併後10年以上を経過し色々な問題点も出てきていると思うこの頃です。

ここで改めて浦川原区の問題点などを住民の立場に立って考え、地域のため民間の考えを取り入れて解決を行えるような活動を行いたいと思います。





北澤 正彦(有島)

本年度よりお世話になります北澤正彦です。

身近なコミュニティの縮小が加速する中で子ども達が笑顔で暮らせる浦川原区

を願い、今出来る事は何かを見極めお手伝いさせて頂きたいと思ひます。宜しくお祈ひします。



五井野 利一(下柿野)

生まれ育ったふるさと浦川原の“これから”のため、“これまで”にとらわれず新しい発想で臨みます。微力ではありますが全力を傾注する所存です。どうぞよろしくお祈ひいたします。

お祈ひに傍聴へお越しくたさい。



杉田 和久(中猪子田)

今、新型コロナウイルス感染の影響で、地域コミュニティの活性化も何もあつたものではありません。

こんな時だからこそ、今後の浦川原区の地域活性化のために何

が必要かの議論を、熱心に且つ着実に重ねて行く一員としてありたいと思ひています。



宮川 勇(長走)

今期より、地域協議会の委員になりました宮川勇です。初めての委員でまだ地域協議会の活動については右も左もわからない事ばかりであります。いろいろな人か

らの意見、ご指導等を受けながら活動していきたいと思ひます。

令和2年度 地域活動支援事業と審査結果について

さかのぼりますが平成17年(2005年)1月をもって旧上越市と周辺13町村が合併されましたことは御承知のとおりです。その時点で旧13町村は、それぞれの町村毎で13の地域自治区が設置され、旧上越市については、平成21年(2009年)10月に15の地域自治区の設置と合わせて28区の地域自治区となりました。各区毎の地域協議会委員は地域住民から「公募公選制」で選出された地域住民の代表であると共に「地域住民の意見集約」の任を担っている地域協議会委員により構成されているのが地域協議会であります。そこで地域の課題解決のための「コミュニティ作り」の一環として「地域活動支援事業」が設けられています。

その補助金額は基礎部分が450万円。浦川原区の人口配分額は90万円で合計で540万円です。今年度は4団体7件の提案をいただきました。浦川原地区公民館において5月30日午後1時より、提案団体との質疑を含め審査会を実施いたしました。新型コロナウイルス拡散防止対策のため、プレゼンテーションの実施は見送り、多くの制限のなかでの審査でありました。

採択にあたり提案者(団体)が少なかったことがあげられます。先にも述べたとおり「コミュニティ作り」事業であります。各町内会を始めとした諸団体の積極的な応募を今後お願いします。反面補助金の有効な活用として、同じような事業を各団体が実施するのではなく、共用できる物品等を住民組織である特定非営利活動法人(NPO)「夢あふれるまち浦川原」が事業化したことで、コミュニティ作りの一端を担っていることです。



審査の様子(5/30、浦川原地区公民館)

特筆できることは、忘れ去られようとしている浦川原区のシンボル像「リウラとラウラ」が補修でよみがえったり、高齢化の中で乗用型草刈り機は広く諸団体の要望にこたえられる事業等でありました。いずれも浦川原区の市民の方々の強い進言があつて実現したものです。

令和2年度 浦川原区地域活動支援事業 採択事業一覧

事業名 (提案者)	決定額 (千円)	事業の概要
うらがわら雪あかりフェスタ (うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会)	100	イベントを通じて区内の交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を目指す。
うらがわらまつり等地域活性化事業 (NPO法人 夢あふれるまち浦川原)	1,660	うらがわらまつりにおいて、ワンタッチテントを購入することで、イベント従事者の負担軽減を図る。また、区内小中学校及び各種地域活動団体に購入した機材の貸出支援を行うことで、地域の活性化に寄与する。
事務代行地域活性化事業 (NPO法人 夢あふれるまち浦川原)	1,078	法人が月1回発行し全戸配布している会報誌の印刷作業の効率化を図るため、コピー機を購入する。また、区内住民や各種団体の事務代行としてコピー機を活用することにより、地域の活性化に寄与する。
浦川原区シンボル像リウラとラウラ補修事業 (NPO法人 夢あふれるまち浦川原)	840	浦川原村の時代、村のシンボルとして建立した「リウラとラウラの像」が老朽化したため、地域住民と協力し、補修作業を行うことで、地域住民はもちろん、他県などから訪れた方々に心のやすらぎを与え、地域の活力の向上を図る。
UMA音楽イベント事業 (浦川原音楽協会 (UMA))	480	音楽、楽器演奏を趣味で楽しむ、嗜んでいる浦川原区住民に対し、日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、幅広い人の輪、繋がりを持つことで、より豊かな感性の育成、日々の生活に張り合いと潤いを与える。
草刈り等に係る地域活性化事業 (NPO法人 夢あふれるまち浦川原)	731	浦川原区内では閉校になった小学校のグラウンドの草刈り作業などを「イノシシ対策」のために行っているが、作業員の負担が大きいため、乗用タイプの草刈り機を購入し、各種地域活動団体に貸し出しを行う。
うらスポフェスタ等地域活性化事業 (NPO法人 うらがわらスポーツクラブ)	481	地域住民に対して、スポーツの振興と健康づくりを目的としたスポーツイベントを開催することで、豊かな地域社会の創造に寄与する。また、多様な地域スポーツイベントに利用可能な備品を整備することで、地域の連携やスポーツ振興の向上が図られ、継続性が高い運営につなげる。
4団体 7事業	5,370	千円

【提案団体の声：浦川原音楽協会 (UMA)】

地域で音楽を楽しむ人たちが集まって、何かやりたい！と声かけをして始まった浦川原音楽協会 (UMA) ですが、早いもので今年5年目を迎えます。12月に開かれる「ファミリーコンサート」は、演奏を聴く、披露する、一緒に楽しむ…という時間を来場者の方々と共有できます。浦川原コミュニティプラザの市民ホールは大きなホールではありませんが、温かい素敵なファミリーコンサートが実現可能です。普段の練習成果の発表の場、プロを招いて様々な演奏を堪能する機会、子どもも大人も音楽に親しめる活動にご理解をいただき、ご支援をいただいていることに、毎回深く感謝をしております。もっと多くの方に楽しんでいただける企画の工夫や努力を続けてまいります。

浦川原音楽協会 (UMA) 会長 北澤 恵

【提案団体の声：NPO 法人うらがわらスポーツクラブ】

うらがわらスポーツクラブは、平成16年に設立し、翌年法人格を取得し、設立の目的である「誰でも気軽に参加できるスポーツ環境の整備」「青少年の健全な育成を図る」「地域住民の健康増進を図る」をもとに活動を行い、近年は6月うらスポマラソン大会、10月うらスポフェスタ、1月NewYearソフトバレーボールフェスティバル事業を中心に活動しています。また、各種事業を行うにあたり、地域活動支援事業へも積極的に提案し、マラソン大会継続の軸にもなりました。今年度は、うらスポフェスタ事業でのスポーツ環境の整備に伴い、キンボール・音響設備の採択をいただき活用させていただきます。そして毎週水曜日はスポーツの日の活動としてアリーナを開放し、各団体が練習日として活用しています。クラブ会員以外の方の利用も可能ですので事務局へ問い合わせください。

NPO 法人うらがわらスポーツクラブ クラブ長 村松 徹

※皆様お誘いあわせの上、ぜひ会議の傍聴にお越しください。

次回の浦川原区地域協議会は、7月29日(水)午後6時から、浦川原コミュニティプラザ4階・市民活動室4・5で開催します。